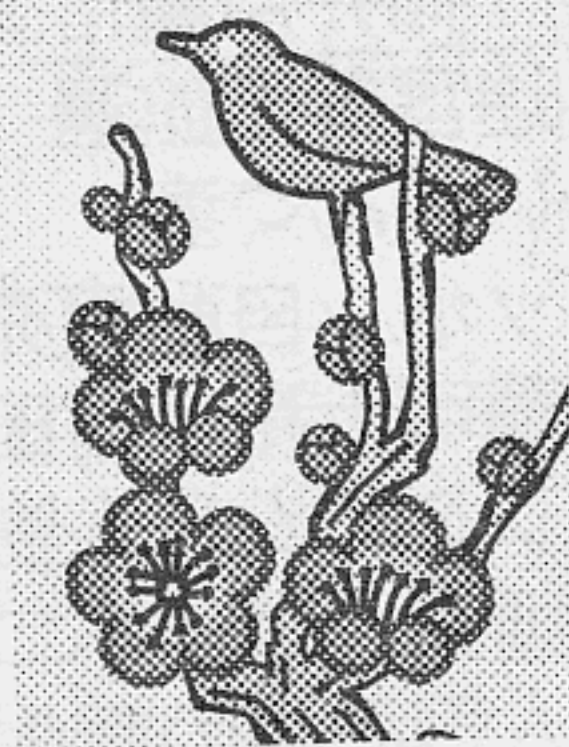


岩手日報 交差点



2011.3.3

ここ1週間、気がかりなのは、ニュージーランドの地震被害。いまだ安否確認ができない方、ご家族の不安を思うと無事を祈るばかりである。

届かぬニュース

同じく先週1週間、ほとんどマスコミに取り上げられないうが、目の離せないニュースがあった。山口県上関原発の建設工事が1年3カ月ぶりに始まった。瀬戸内、祝島を眺める埋め立て予定地、田ノ浦湾からの「今」が届く。

美しい海や、漁業で生きる人たちの暮らしを守りたい、という若者たちが、インターネットで生中継をしているのだ。海上には抗議する漁船やサーファー。そして中国電力、海上保安庁の船が浮かぶ。浜では地元住民と対峙する

警備員や作業員、中国電力の社員、待機

する警官。スクラムを組む警備員の輪の中で、抗議して座り込む人を映す。警備員の中には訴えを聞き涙ぐむ人もいる。

もう一つ山口県と交互にチェックしていたのは、米軍のヘリパッド建設が予定されている沖縄県北部、東村高江。

人口160人ほど。固有種や希少種の宝庫、やんばるの森に押し付けられる脅威を伝える。現場をネットが伝え、同時に視聴する人がつながる。

息子の中学校では毎朝日直が、ニュースを一つ選んで報告する。少人数なので次々と日直は回ってくる。ラジオが主な情報源であるわが家は皆で耳をそばだてる。今週月曜日が日直の息子は、京大入試のネット流出事件を選んだ。ネットの急激な変化は、次々と事件を引き起こす。しかしニュースの行間を知らせることができるのもまた、ネットである。情報を広く共有することがまずはスタートライン。賛否はその後だ。(陽)